

港区立小中一貫教育校お台場学園港陽小学校

令和3年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査の結果を踏まえた課題

国語	・拗音、促音、長音や「は」「を」「へ」の使い方が定着していない。 ・「書くこと」について、自分の考えを明確にして文章を書く力が乏しい。 ・「言葉についての知識理解技能」について、課題がある。
社会	・年表や地図など資料を正しく読み取る問題の正答率が低い。 ・地図記号や世界や国の国土の様子など基本的な知識の定着に課題が見られる。 ・学年が上がるにつれて、身近にない事象についての関心、意欲が低い。
算数	・観点別正答率では、特に「思考・判断・表現」の項目で、区の平均を下回っている。 ・領域別では、「データの活用」の項目が目標値を下回る傾向にある。 ・身に付いている知識や技能を活用し、問題を解決することに課題がある。
理科	・観点別正答率では、特に「思考・判断・表現」の項目で、区の平均を下回っている。 ・問題解決的な学習の流れが定着しておらず、児童が主体となって学習すすめることができていない。 ・エネルギー領域や粒子領域など、目に見えない事象についての知識理解に課題がある。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・漢字の読み書きの確かな定着。 ・目的意識をもって、書くこと。 ・「言葉の学習」の理解を深める。	・基礎基本の時間に漢字のミニテスト等を各クラスで積極的に行い、結果により個人指導を続けていく。 ・日常的に自分の考えを書く機会を設け、その際に既習の漢字を使うことを徹底する。 ・読む相手や書く目的を具体的に設定したり、時数や要約など条件を課したりして、目的に応じて、自分の考えを書いたり編集したりすることを大切にする。 ・国語だけでなく他教科でも日常的に辞書を活用し、語彙力を高める。 ・基礎基本の時間や家庭学習などで、東京ベーシックドリルを活用し反復練習を行うことで、言葉の学習の理解を深める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	・基本的な知識の理解。 ・年表や地図など資料を読み取る力。 ・よりよい社会を考え、主体的に問題解決しようとする態度。	・授業や小単元の終わりに授業のポイントや大切な語句を確認し、それを用いてまとめを行い知識の定着を図る。 ・様々な形の資料を取り上げ、対話的な授業を通して資料から正しい情報を読み取り、考えや視点を共有できるようにする。 ・高学年では、新聞やニュースから時事問題を取り上げ、社会的事象に触れる機会を設ける。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	・既習事項を活用して、図・式・言葉で考えを表現する力。 ・問題を主体的、対話的に解決し、深い学びにつなげる力。	・東京ベーシックドリルを活用し、全学年までの既習内容を復習する。 ・児童に合わせた課題内容や量を考え、きめ細かく指導し、基礎・基本の力を身に付けられるようにする。 ・対話的な学習を増やし、友達の考えを取り入れながら自分の考えを深めることができるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	・自然現象に対する基本的な概念や性質、規則性の理解。 ・意欲的に自然の事物・現象に関わろうとする態度。 ・他者と関わりながら、粘り図よく問題解決する態度。	・問題解決的な学習過程に繰り返し取り組む。その際、自分の言葉でノートに記述したり、他者と話し合ったりする言語活動を多く取り入れる。 ・プリント学習で、基本的な知識理解の定着を図る。 ・基本的な実験・観察の技能やノート記録の指導を充実する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	・自分自身や身近な人々、社会及び自然の良さに対する理解。 ・自分と社会や身近な人々、自然のとの関わりについて考えを表現し、自ら学ぶ態度。	・友達や地域の人々との関わりに重点をおいた活動を取り入れる。 ・書いたり読んだりする力や伝え合う力を伸ばすために、児童の気付きや思いを表現し合う活動を計画し、意欲を高める。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	・音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能。 ・曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴く能力。	・発達段階に応じて、興味・関心をもって取り組むことができるようにする。遊びながら歌う活動や体の動きを伴った活動などを効果的に取り入れる。 ・旋律を口ずさんだり、音楽に合わせて体を動かしたりするなどの活動を取り入れ、音楽を全体にわたって味わって聴く楽しさを感じ取れるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	・造形的な特徴の理解及び材料や用具を活用し表す能力。 ・具体的な色や形を多角的にとらえ、自分自身の表現を深める能力。	・発達段階に応じた適切な指導計画のもと、個に応じた指導を充実させ、常に安全に配慮して指導を行う。 ・完成した作品だけでなく、途中段階においても対話を通して作品の良さを具体的に見出し、造形的な視点を広げ、制作、鑑賞への意欲を高める。

庭 家	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
-----	-------------	----------------------

	・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な生活に活用できるようにする。 ・自分と家族などとのかかわりを考えて実践できる喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。	・基礎的、基本的な知識が身に付くように、調べたことや実践したこと等を ICT も活用しながら発表、共有する場を設定する。 ・基礎的、基本的な内容は、繰り返し練習させたり、児童同士で教え合う場を設定したりする。 ・日常生活を振り返り、問題を見出し、課題を設定して考えられるように、学習カードやワークシートを用いて学習を進め、実践する機会を設定する。
--	--	---

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・主体的に運動に取り組む態度。 ・課題に向けて協力して、学ぶ態度。	・タブレットの活用で自己の課題を明確にする。 ・個に応じた場の設定をし、課題にあった練習が取り組めるようにすることで「できる」体験を増やす。 ・対話的な学習活動を増やし、仲間と協力して課題を解決することができるよう授業を工夫する。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・言語やその背景にある文化に対する理解。 ・相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションをとろうとする態度。	・学習の流れを明確にし、児童が進んで学習に取り組めるようにする。 ・活動内容のバリエーションを広げて、知識の定着を図る。（話し合い、スピーチ、ゲームなど） ・コミュニケーションが苦手な児童には教師が支援できるよう配慮する。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・展開前段での話し合いを生かして、自分のより良い生き方について考える力。	・教師が1時間の学習のねらいを明確にもつ。 ・一人一人の考えを共有したり、さらに深めたりする時間を十分に確保する。 ・教材で考えたことを生かして、自己の振り返りにつながる発問をする。

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・自分の役割に責任をもって仕事や活動に取り組む。 ・見通しをもって適切に話し合い活動を進めていく。	・児童間で声を掛け合うよう指導する。 ・教師から細やかに声掛けをし、活動を称賛する。 ・話し合いの方法を型で示し、話し合い活動の経験を増やしていく。 ・スモールステップで明確な到達目標を示す。

学	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
---	-------------	----------------------

	・ICT機器を効果的に活用して学習に取り組む。 ・見通しをもって学習に取り組む。	・学年ごとに総合的な学習におけるICTの活用目標を立て、それに合わせてICTの活用方法を指導していく。 ・「課題設定」→「解決方法の選択」→「まとめ」→「考察」→「新たな課題の発見」という問題解決的な手順で学習を進めていく。
--	---	---